

報告資料

中長期経営プラン 2017 の進捗状況について

南房総広域水道企業団中長期経営プラン 2017（平成 29 年度～令和 8 年度） 令和元年度施策評価報告書

1 基本理念と目標

「南房総の未来をつなぐ安全・確実で信頼される広域水道」という基本理念を実現するため、3つの計画目標を掲げ、具体的な施策を行う。

(1) 水道水の安全の確保【安全】

適切な浄水処理の徹底及び水質管理体制の強化により、安全な水道用水を供給し続けることを目指す。

(2) 確実な給水の確保【強靱】

自然災害等による被災を最小限にとどめ、被災した場合であっても迅速に復旧できるしなやかな水道を目指す。

(3) 供給体制の持続性の確保【持続】

水道を担う人材の確保と経営基盤の強化を図り、健全かつ持続可能な水道を目指す。

2 評価対象年度 令和元年度

3 取組結果

(1) 目標 水道水の安全の確保【安全】

評価	件数	割合
a : 達成している	7 件	77.8%
b : 概ね達成している	0 件	0.0%
c : 達成していないが進展している	2 件	22.2%
d : 進展していない	0 件	0.0%
計	9 件	100.0%

1) 水源水質・水質事故への対応力の向上

① 水源水質監視 【評価：a 達成している】

長柄ダムの定期調査を毎月 1 回実施した。

② 水質事故発生に備えた体制整備 【評価：a 達成している】

情報連絡体制により、水質事故情報を速やかに入手することができた。

2) 適切な浄水処理の実施

① 浄水処理の徹底 [評価：a 達成している]

粉末活性炭や凝集剤の注入率を適宜調整し、トリハロメタン等を目標値内に管理した。

② 新たな浄水処理方法の調査・検討 [評価：c 達成していないが進展している]

情報収集は行ったものの、室内試験等の具体的な検討には至っていない。

③ 送水水質管理の徹底 [評価：a 達成している]

水質検査を定期的実施し、濁度や色度が目標値を超過することはなかった。

3) 水質管理体制の充実

① 水質検査体制の充実 [評価：a 達成している]

水質検査機器の機能維持を図り、水質基準自己検査項目数 46 項目以上を維持した。

② 水安全計画の着実な運用 [評価：a 達成している]

計画の実施状況の検証や水源リスク情報の見直しを行った。

③ 受水団体との意見交換 [評価：c 達成していないが進展している]

夷隅・安房地区水道水質担当者連絡協議会を中止したため、情報交換ができなかった。

④ 水質に関する情報提供 [評価：a 達成している]

水質検査の結果を、毎月公表することができた。

(2) 目標 確実な給水の確保【強靱】

評価	件数	割合
a : 達成している	9 件	81.8%
b : 概ね達成している	1 件	9.1%
c : 達成していないが進展している	1 件	9.1%
d : 進展していない	0 件	0.0%
計	11 件	100.0%

1) 施設・管路の維持管理

① 施設・管路の維持管理 [評価：a 達成している]

点検整備計画による点検整備を実施し、必要に応じた計画の見直しを行った。

② 漏水防止対策 [評価：a 達成している]

電気防食装置の点検を実施し、漏水を防止することができた。

③ 設備・管路情報等の管理 [評価：a 達成している]

設備台帳や工事台帳などの情報を適宜追加や修正を行い、情報管理を行った。

2) 適切な更新の実施・災害対策事業の実施・危機管理体制の強化

① 管路の計画的な更新の検討 [評価：a 達成している]

更新管ルートの基本選定を実施し、複数のルート案を選定することができた。

② 浄水施設等の更新 [評価：b 概ね達成している]

更新工事の実施や施設の劣化状況を把握したが、1件の更新工事が工期延期となった。

③ バックアップ機能の検討 [評価：a 達成している]

配水池容量の適正化を図るため、浄水池の新設に係る基本設計を行った。

④ 房総導水路施設緊急改築事業 [評価：a 達成している]

房総導水路施設整備計画等検討連絡会に出席し、事業の進捗を把握することができた。

⑤ 事故時対応及び復旧作業の迅速化 [評価：a 達成している]

備蓄用の資機材として、空気弁や補修弁、自動バルブ開閉器を購入した。

⑥ 災害・事故時における連携強化 [評価：a 達成している]

他団体及び民間業者との協定を継続し、迅速に応急復旧が行える体制を維持することができた。

⑦ マニュアルの充実と訓練の実施 [評価：c 達成していないが進展している]

各種マニュアルを改訂し訓練も実施したが、業務継続計画の策定作業が進んでいない。

⑧ 渇水時の体制強化 [評価：a 達成している]

取水制限は発生せず、構成市町の貯水量の急激な低下もなく、円滑な水運用が図れた。

(3) 目標 供給体制の持続性の確保【持続】

評価	件数	割合
a：達成している	3件	27.3%
b：概ね達成している	6件	54.5%
c：達成していないが進展している	0件	0.0%
d：進展していない	2件	18.2%
計	11件	100.0%

1) 経営の健全化及び効率化

① アセットマネジメントの向上 [評価：d 進展していない]

情報収集は行ったものの、アセットマネジメント推進会議が開催できなかった。

② 経営健全化の取組 [評価：a 達成している]

起債額を抑え、割賦負担金の繰上償還により支払利息及び企業債残高が減少した。

③ 資金管理・調達に関する取組 [評価：b 概ね達成している]

企業債残高が目標を上回ったが、有価証券等による資金運用は継続できた。

④ 民間活力の活用 [評価：d 進展していない]

民間への委託効果の検証を行う予定であったが実施できなかった。

2) 広域化の推進

① 用水供給事業者の統合等の取組 [評価：b 概ね達成している]

用水供給統合は、統合基本計画(原案)について、構成市町の合意を得ることができた。
末端給水統合は、統合研究会を2回開催したが、覚書を締結することができなかった。

3) 人材育成と活力ある組織づくり

① 効果的な組織体制と適切な定員管理 [評価：b 概ね達成している]

職員採用試験を開催し、広報も行ったが、職員を採用することはできなかった。

② 技術等の継承と人材育成 [評価：a 達成している]

研修計画により職員へ参加を促し、職員1人あたりの研修時間が18.5時間となった。

4) 構成市町等との連携・情報公開

① 構成市町等との連携 [評価：b 概ね達成している]

5月に南房総地域水道連絡協議会を開催したが、2月末に予定していた夷隅・安房地区水道水質担当者連絡協議会は中止となった。

② 広報活動の充実 [評価：b 概ね達成している]

企業団ホームページを随時更新し、14団体の施設見学に対応した。

なお、広報紙の企画会議により、企業団広報紙を作成しない方針としたため、次年度以降の「広報紙の作成」への取組は行わないこととした。

5) 環境対策

① エネルギー使用の合理化 [評価：b 概ね達成している]

省エネ対策を実施し、電力消費量の目標を達成したが、再生可能エネルギー導入の検討をさらに行う必要がある。

② 資源の有効利用 [評価：a 達成している]

特定建設廃棄物はすべて再資源化し、建設廃棄物は再資源化が可能な廃棄物すべてを再資源化した。また、浄水発生土はすべてセメント原料として再資源化した。

○ 総合評価

評価	件数	割合
a：達成している	19件	61.3%
b：概ね達成している	7件	22.6%
c：達成していないが進展している	3件	9.7%
d：進展していない	2件	6.4%
計	31件	100.0%